

2016J2

■順位表■第1節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	群馬	3p	+4	4	0	A●
2	千葉	3p	+1	2	1	
	長崎	3p	+1	2	1	
4	東京V	3p	+1	1	0	
	C大阪	3p	+1	1	0	
	讃岐	3p	+1	1	0	
	北九州	3p	+1	1	0	
	熊本	3p	+1	1	0	
9	水戸	1p	0	1	1	
	京都	1p	0	1	1	
	岡山	1p	0	1	1	
	山口	1p	0	1	1	
13	清水	1p	0	0	0	
	愛媛	1p	0	0	0	
15	金沢	0p	-1	1	2	
	徳島	0p	-1	1	2	
17	札幌	0p	-1	0	1	
	山形	0p	-1	0	1	
	町田	0p	-1	0	1	
	横浜FC	0p	-1	0	1	
	松本	0p	-1	0	1	
22	岐阜	0p	-4	0	4	----

次回HomeGame

第3節 vs. ギラヴァンツ北九州

3/13(日) 14:00

@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場


本庄工業株式会社
<http://www.honjo-woodream.com/>

岡田歯科医院
岐阜市加納新本町1-23
tel: 058-273-8998

ALADDIN
何も無い店だけど..
心の花が咲く..
何も無い店だけど..
心癒される..
忘れかけていた喫茶店がある
岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

today's guest : 北海道コンサドーレ札幌

2015 J2 14勝15分13敗 勝ち点57: 第10位

直近の対決と結果	ここ3試合の公式戦の結果	
2015/9/23 J2-33節@札幌厚別	FC岐阜	北海道コンサドーレ札幌
札幌 1-2 岐阜 渡邊将基、レオミネイロ scored.	2016/02/28 J2-01節@正田スタ 群馬 4-0 岐阜	2016/02/28 J2-01節@味スタ 東京V 1-0 札幌
	2015/11/23 J2-42節@長良川 岐阜 1-4 福岡	2015/11/23 J2-42節@札幌ド 札幌 4-1 栃木
	2015/11/14 J2-41節@ピカスタ 讃岐 3-0 岐阜	2015/11/14 J2-41節@K s スタ 水戸 2-1 札幌

●いよいよ始まる 2016年J2リーグ戦。我らがFC岐阜も、J2残留ギリギリの20位に終わった昨シーズンの反省から、退団選手17名・加入選手15名と、大幅に選手を入れ替えて臨むことになった。そして今年は、J1クラブライセンスを取得して戦う初めてのシーズン。オフシーズンにはスタジアムの改修そして待望のクラブハウスも完成。もちろんまだまだ設備などクラブ環境は不足しているものが多いし、これで簡単にJ1昇格を狙えるといったものではないが、それでも可能性はゼロではない。そして、これらの支援に応えるためにも、チームには昨年以上の結果を出すことが求められる。FC岐阜サポーターとしては“J1昇格やプレーオフ進出”という楽しみの幅が広がるシーズンでもある。

とはいえ、今年のJ2も混戦は必至。22チーム中、J1経験クラブが10チーム、また岐阜と同様に大幅な戦力補強を図ったクラブも多い。昨季20位だった岐阜は（J3から昇格した2チームなどと併せて）“残留争い”候補でもある。これまで同様、1試合ずつ、目の前の試合で勝ち点を積み上げてゆくことが求められるだろう。2/21(日)に行われたJ1・神戸とのプレシーズンマッチは、0-1と敗れたものの、新加入選手の活躍も見られた。期待を持てる内容だったが、しかしアウェイでの開幕となった2/28(日)の群馬戦は、昨シーズン18位の相手に全く良いところもなく、0-4で惨敗。非常に厳しい現実を見せつけられる結果になってしまった。まだ1試合だけだが、順位は単独最下位。昨季リーグワーストの71失点の守備が今年も不安視される。だが、あくまでもシーズン全42試合中の1試合だと前向きに考えよう。もちろんチームが最下位にいるのは気持ちの良いものではないが、切り替えてこの1週間で修正し、ホーム開幕戦を勝利するため、チーム全員の奮起に期待したい。さて、今節の対戦相手は現在17位の（今年からチーム名が変更された）北海道コンサドーレ札幌だ。昨年は勝ち点57・10位（6位・長崎が60）とプレーオフには届かなかったが、今年もJ1復帰を目指すチームだ。そして札幌との通算対戦成績は2勝2分9敗、11得点26失点と圧倒的に分が悪い。ホーム戦でも1勝1分5敗、7得点14失点という散々な成績だが、直近の対戦である2015年第33節・アウェイ戦では2-1で勝利している。今回の対戦でも勝利し、2010年（第5節：3-0）以来のホーム長良川での勝利を挙げたいところだ。

札幌の要注意選手は、まずは昨シーズン13得点（J2得点ランキング7位）を挙げた#9都倉賢だろう。今季も開幕戦でスタメン起用されており、引き続き札幌攻撃陣の柱だろう。このフィジカルにも優れた長身FWを自由にさせないことが、まずは岐阜の守備を立て直すために必要だ。また、開幕戦には札幌の誇る#17稲本潤一& #44小野伸二という、日本代表・W杯そして海外チームを経験しているベテラン選手が揃ってスタメン出場している。この2選手にマッチアップする岐阜の選手が、ボールの出どころを防ぐ活躍も求められるだろう。一方の岐阜は（前節に惨敗しているため）大幅な選手の入替も想定される。スタメン投入される選手の活躍はもちろん期待したいが、チーム内のスタメン争いが激しくなって、チーム全体が活性化することも願いたい。

残念ながら、今年も開幕戦で敗戦して、最下位から始まるシーズンになった。後は順位を上げるだけだと、前向きに捉えてホーム開幕戦を迎えよう。ホーム・長良川で勝つために、選手を後押しするために、みんなの拍手・声援が必要だ。そして、今シーズン最初の「万歳四唱」を、選手たちと共に迎えよう。（ささたく）

「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。
休:月曜日

投稿募集!!
アドレスが変わりました
gidaidohri@gmail.com

【PSM】 岐阜 0-1 神戸

●ゴール裏が生息地？の僕にとって「年に一度、メインから観戦する試合」。それがPSM。ただ、今年は観戦できたのは開始20分頃からというタイトラク。最初から見ていた知り合いに「開始早々チャンスがあったけど……」と聞いたところ辺りで失点。昨季もよく見た自陣の低い位置でのミス。まあ、あそこで奪われたら、そこはJ1様。見逃してはくれない。結局、この一点が決勝点となって試合終了。この結果自体は特にどうこう言うこともない。開始早々のチャンス以外は、エヴァのミドルくらい？内容的には「可もなく不可もなく」といったところか。そういうことにしておきたい。けれど、ウチは開幕からいきなり残留争いのライバルと思われる群馬戦。それを前に、この仕様はどうなのか？開幕直前のPSMのスタメンは、ほぼ開幕のそれで臨むべきではないかな？苅部の復活はウレシイ。でもさ、系治と組ませるなら秋葉じゃないの？でなきゃ、田森でしょ。わざわざCBに置いて、しかも、岡根を下げて田代ってのはどうなの？田代と田森のコンビ？っての組み合わせが公式戦のスタメンであり得るの？開幕戦に向けて、ケガのないよう出場時間を減らしたのかな？それと、繰り返しになるけど、失点シーンは昨季何度となく目にしたケース。ただでさえ、ウチの攻撃の起点の系治が狙われるのは自明の理。今季はレオナルドが入ったとはいえ、ボランチの二人ともが前向き、攻撃的な選手というのは、ちょいとばかし冒険がすぎないか？失点を減らすんだよね？スタンドから見た印象は終始引き気味の6バック。「攻撃はブラジルトリオに任せた。」そんな感じに見えたけれども、録画を見たら、解説の副島さんも康造も、ウチを「コンパクト」って評してた。まだまだだなあ、オレ。(ぐん、)

【第1節】 群馬 4-0 岐阜

●「上州のからっ風」として名高い群馬の気候。日向は優しく暖かいけれど、日陰は風が強く寒い、そんな中で迎える2016年シーズン開幕戦。その対戦相手が昨年18位の群馬ってことは、いきなり今年のFC岐阜の成績を占う「裏・天王山」的な要素も併せ持つ訳で(苦笑)。だからこそ、勝ちたいと遠方アウェイの地に集まった岐阜サポは300人を超えたとか。だけどスタメンを見た時、僕は不安を感じた。PSM神戸戦時の岐阜のスタメンは“お試し”的な要素が多いと、例えば#22ポープはGKでは三番手だとばかり思っていたからだ。才能はあるかもしれないけれど出場経験は僅か1試合(ちなみに一昨年の岐阜戦ですね)、試合運びが難しいアウェイしかもシーズン開幕戦で起用するのか…と驚いた。同様に、#27苅部隆太郎青木翼の若手ダブルボランチにも。んで、他のスタメンはPSMと同じなのに、その神戸戦でキラリと光った(と僕には思えた)#34田中達也が不在とは…(後で怪我により離脱したと知ったけれど)。そして(残念ながら)それらの不安が的中してしまう。(PSMでそうだったように)#34田中達也のサイド攻撃を起点にした組み立てが攻撃の軸だったらしいのに、それが無いばかりか、その連携のとれていない右サイドを群馬に崩されて攻められる。1失点目は、#22ポープの経験不足が出たよあ…(溜息)。非常に大きな授業料を払ったのだから、猛省して今後に繋げて欲しい。そして、失点後は攻撃も守備も、まったくチグハグになっていく。相手と競っていない・セカンドボールが拾えない・前線にパスが繋がらない…。まあ昨年のリーグ終盤と比べると、スタメンは7人も入れ替わっている(うち新加入選手は5人)んだから、ウチの現状では“チームの積み上げ”はほとんど無いが、“イチから積み上げて”段階なんだろうね…昨年の開幕戦(アウェイ岡山戦:0-3)も、こんな感じだったかしら…(更に溜息)。無得点・大量失点・シュート数は僅かに2本。試合が進むにつれて太陽が翳り、冷たく厳しい風にさらされ、そ

れが今シーズンのチームの行方を象徴しているようで、身も心も冷えきって正直堪えました、はい。

それにしても、昨年の江坂任(今季は大宮に移籍)といい、今年の瀬川祐輔といい、群馬は良い大学ルーキーを見つけてくるねえ…あっ、2人とも#26なんだね(苦笑)。ウチの若手も、奮起して覚醒してほしいものです。

こんな酷い試合は選手もサポも、気持ちを切り替えるしかない。このホーム開幕戦こそが“真の開幕戦だ”と思って(笑)、選手もサポも、やるしかない!(ささたく)

●この試合を表現する術を持ち合わせていない。ああ、そうだ。あの指揮官がウマイこと言っていたな。「草サッカー以下」と。とはいえ、自分は草サッカーでもベンチにも入れないレベルなんで、それがどんなレベルかはよくわからないけれど。

とりあえず、「攻撃的」という言葉の対極に来るのが「守備的」という言葉ではないということ。それはわかったような気がする。「何もできない。」が正解なのか。自分勝手な考えだが、開幕でいきなりの大一番。残留への裏天王山だと踏んでいた群馬戦。PSMと比べ、大幅なスタメンの入れ替えはなかった。なのに、とんでもなく入れ替わったような錯覚。右SBが磐瀬、左がノガ。それくらいはあると思ってたが、翼と苅部のダブルボランチ????これは何だ?キャンプの練習やTMとかで試したことあるんだろうか?そう思っていたら、はたして、その中盤でほとんど圧倒されっぱなし。途中から高地が目につくようになって、そーいや、翼はどこ行った?と探したら右前の方にいた。連携も何もあったもんじゃない。前半で磐瀬が替わったけど、彼の出来が悪かったとは思えない。彼は常に二人を相手にせざるを得なくなって、やむなくゴール前に戻ってきてた。気の毒だったなあ。しかし、そんな思いは軽く吹っ飛んだ。交替で入ったのが難波。これはわかる。で、3バックにするのかと思ったら、翼が左。おいおい、だ。「練習でできないことは試合でもできない。」という言葉があったと思うが、「練習でやってないことも試合ではできない」んじゃないのかな?そういう予想だけはしっかり的中して、両サイドがガラ空きになったところを突かれてトドメの3失点目。で、レオナルドを下げて正紀を右SB、ノガを左に。えっと、PSMならともかく、交替枠は3人のハズですよ?そして、その3人目は高地→パウロ。攻撃の起点をゼロにしちゃいましたね。もう、札幌戦に備えて、ケガのないように大事を取ったのかな?点差があるんで引いて守る相手にドリブラー入れてもね。

録画を見たらハーフタイムにで「シンプルに」ってコメントがあったと言ってたけど、ホントかな。シンプルって単語は、そんなに複雑な意味だったのか。単純ってことなら、岡根をトップにして大作戦にした方がわかりやすくよかったんじゃないの?そりゃ、苅部が言ってたらしいけど「一対一で完敗」してたら、どうにもならない。だけど、連携とかか守備とかかは、そういう「やられる」場面も想定して構築するもんじゃないの?PSMの感想でも書いたけど、ボールをキープ出来る選手がたくさんいれば、ボールを相手に渡さずにすむ。ボールを渡さなければ、守備の必要がない。故に、攻撃は最大の防御……とはならないんだよな。守備的な選手=消極的では決まてない。守備、土台がしっかりしてるから後ろを気にせず、安心して前を向ける。背中を預けられる。プレーしてる選手同士が信頼感を持ってプレーできるようにする。その指針を示すのが指揮官。それはサッカーだけじゃなく、どんな仕事でも変わらないと思うんだけど。試合後の選手を見てても可哀そうでしょうがなかった。時間が進むごとに不安と焦燥感ばかりが大きくなっていったんじゃないのかな?でも、ね。済んだことは仕方がない。「やりますと言ったけど、できるとは言ってません。」ぐらいに居直り、開き直りで次の試合を見据えてください。しっかり、切り替えるのもプロの仕事。今季の岐阜はリーグを41試合で戦う。PSMが2試合あった。そう思うことにして、ホーム開幕戦でやり直そう。やるしかない。(ぐん、)